

## 第9節 植物による大気質のモニタリング

### 第1項 調査木の抽出調査

#### 1-1 調査概要

計画地周辺において、大気質モニタリングの指標種であるウメノキゴケ等の付着した調査木を抽出した。

##### 1-1-1 調査年月日・調査内容及び調査方法

調査木の抽出調査は、平成13年5月10日に実施した。

なお、ウメノキゴケ等の付着した調査木の抽出にあたっては、評価書の大気質予測結果を基に、以下の5地点を設定し、さらにその周辺を任意に踏査し、本種の生育状況等を考慮して調査対象種の抽出をした。

中間処理（溶融処理）施設からの予測結果（長期予測）の最大着地濃度地点1地点

〃

（短期予測）の3風向時の最大着地濃度地点3

地点

桜花台にある既知のウメノキゴケ生育地点1地点

以上の5地点。

#### 1-2 調査結果

調査の結果、図9-1に示した5地点の調査木を抽出した。

抽出した調査木に着生していたウメノキゴケ等の生育状況を表9-1に示した。

抽出調査時に調査木に着生しているウメノキゴケ等の生育状況は良好であった。

表9-1 ウメノキゴケ等の生育状況

確認地点	着生種 （着生木）	着生位置 （高さ:m）	着生方向	大きさ （cm）	色	細胞
1	ウメノキゴケ （ニセアカシア）	0.5~2.0	E S	範囲内一面 に生育	葉状体裏面はつ やのある褐色	崩壊なし
2	マツゲゴケ （クスノキ）	1.6~1.8	NW	5.0×6.0	葉状体裏面はつ やのある褐色	崩壊なし
3	ウメノキゴケ （タブノキ）	0.2~0.5	NNE	10×10.8	葉状体裏面はつ やのある褐色	崩壊なし
4	ウメノキゴケ （ソメイヨシノ）	0.2~1.0	N	範囲内一面 に生育	葉状体裏面はつ やのある褐色	崩壊なし
5	ウメノキゴケ （ソメイヨシノ）	0.2~0.3	E	8.4×11.2	葉状体裏面はつ やのある褐色	崩壊なし

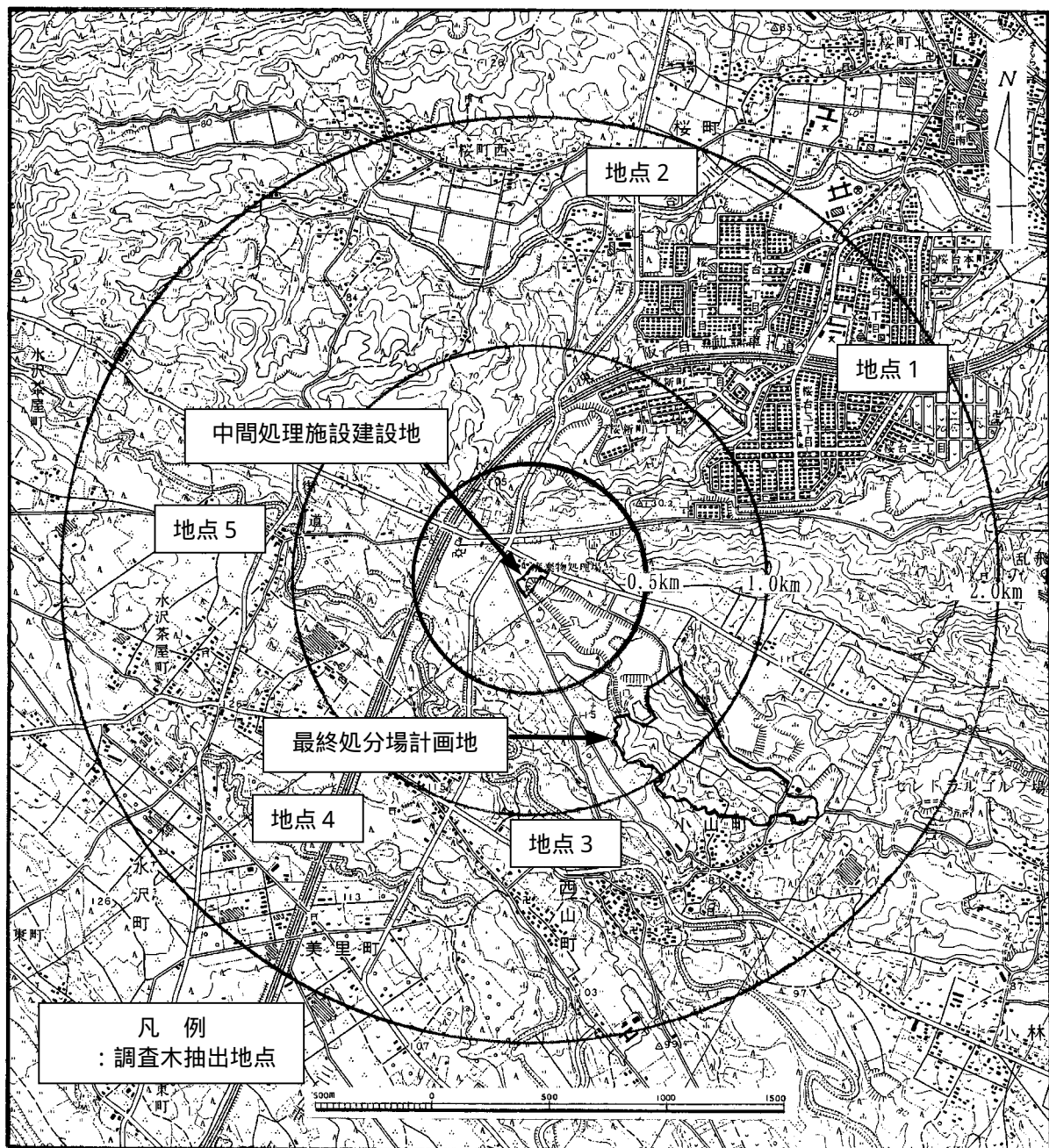


図9 - 1 植物による大気質モニタリング調査地点

## 第2項 植物による大気質のモニタリング

### 2-1 調査概要

先に実施した調査木の抽出調査により抽出したウメノキゴケ等について、モニタリング調査を実施した。

#### 2-1-1 調査年月日及び調査内容

調査は、表9-2に示したとおり夏季から冬季にかけて各季1回の3回実施した。

表9-2 調査年月日及び調査内容

調査時期	調査年月日	調査内容
夏 季	平成13年8月23日	ウメノキゴケ等の生育状況調査
秋 季	平成13年11月15日	
冬 季	平成14年1月17日	

#### 2-1-2 調査場所

調査場所は前掲の図9-1に示した5地点とした。

### 2-2 調査結果

調査の結果、表9-3に示したとおりいずれの調査対象種も形状、色等、良好に生育していた。

表9 - 3 ウメノキゴケ等調査結果

調査時期	確認地点	着生種 (着生木)	着生位置 (高さ：m)	着生方向	大きさ (cm)	色	細胞
夏季	1	ウメノキゴケ (ニセアカシア)	0.5～2.0	E S	範囲内一面に生育	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	2	マツゲゴケ (クスノキ)	1.6～1.8	NW	5.0×6.0	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	3	ウメノキゴケ (タブノキ)	0.2～0.5	NNE	10×10.8	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	4	ウメノキゴケ (ソメイヨシノ)	0.2～1.0	N	範囲内一面に生育	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	5	ウメノキゴケ (ソメイヨシノ)	0.2～0.3	E	8.4×11.2	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
秋季	1	ウメノキゴケ (ニセアカシア)	0.5～2.0	E S	範囲内一面に生育	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	2	マツゲゴケ (クスノキ)	1.6～1.8	NW	5.0×6.0	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	3	ウメノキゴケ (タブノキ)	0.2～0.5	NNE	10×10.8	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	4	ウメノキゴケ (ソメイヨシノ)	0.2～1.0	N	範囲内一面に生育	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	5	ウメノキゴケ (ソメイヨシノ)	0.2～0.3	E	8.4×11.2	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
冬季	1	ウメノキゴケ (ニセアカシア)	0.5～2.0	E S	範囲内一面に生育	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	2	マツゲゴケ (クスノキ)	1.6～1.8	NW	5.0×6.0	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	3	ウメノキゴケ (タブノキ)	0.2～0.5	NNE	10×10.8	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	4	ウメノキゴケ (ソメイヨシノ)	0.2～1.0	N	範囲内一面に生育	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし
	5	ウメノキゴケ (ソメイヨシノ)	0.2～0.3	E	8.4×11.2	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし

## 2 - 3 まとめ

今回の調査の結果、抽出した5地点のウメノキゴケ等は現在は良好に生育していた。

本種は、大気汚染の影響を受けやすい種であることから、大気が汚染されている所には生育していない。したがって、当該地域に本種が良好に生育しているということは当該地域にこれまで大気の汚染がなかったこと、及び現在も大気の汚染がないことが伺える。